

平成24年度花巻市健康づくり推進協議会 会議録

1 開催日時

平成24年7月31日（火）午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所

花巻市南万丁目970番地5

花巻保健センター 2階 集団指導室

3 出席者

(1) 委員 18名

大沼委員、杉原委員、多田委員、田名場委員、狩野委員、鎌田委員、土岐委員、照井委員、平賀委員、赤沼委員、高橋（照）委員、伊藤委員、坂本委員、川戸委員、菅原委員、八木委員、佐藤（勝）委員、佛川委員

(2) 市・事務局 10名

出茂健康こども部長、上田健康づくり課長、阿部課長補佐、松田主任主査兼係長、佐藤（陽）主任主査兼係長、今井主任主査兼係長、城守副主幹兼係長、大迫保健福祉センター 駿河主任主査、石鳥谷保健センター 小森林主任主査、東和保健センター 石川主任主査

4 会議の概要

(1) 開会 上田健康づくり課長の進行により開会

(2) 委嘱状交付 出茂健康こども部長より新任の委員へ委嘱状を交付

(3) 委員紹介 上田健康づくり課長より各委員を紹介

(4) 挨拶 出茂健康こども部長

今日は忙しいところ、また大変暑いところを出席いただき感謝申し上げます。日頃から保健事業をはじめとして、保健・福祉の推進に様々な面からご支援ご協力を賜わり御礼申し上げます。役員改選等により新たに委員になった方に委嘱状を交付したところであるが、今後とも本市の健康づくりの推進のためにご意見ご指導を賜わりたい。昨年度は健康づくり事業計画をはじめとして、高齢者、障がい、まち・地域福祉等の計画の策定時期であった。これまでは各分野でそれぞれ計画を策定していたが、少子高齢化の急速な進展、社会環境の変化もあり、これからは保健福祉部門総体的に策定しなければならないということで、本市の初の試みとして保健福祉総合計画という大きな計画を本年2月に策定したところである。健康はなまき21プランについては、委員からのご意見ご指導を賜わり策定することができたことに御礼申し上げます。今後はこの計画に基づいて市民の健康づくりに取り組んでいくことになる。本日の会議では、昨年度の事業の実施状況、今後の事業計画について協議いただくことになるが、事業の推進のために委員各位のご意見ご指導をお願いしたい。

(5) 会長・副会長選任

これまで会長には高橋花巻市医師会長、副会長には江川花巻市保健推進委員協議会

長を選任してきた経緯があるが、今年度の団体役員改選により医師会長、保健推進委員協議会長が変わったことから残任期間を選任するものである。平賀喜代美委員よりこれまでどおりとの発言があり、委員からも異議がなかったことから、会長に大沼花巻市医師会長、副会長に杉原花巻市保健推進委員協議会長を選任した。

(6) 議題 (議題進行は大沼会長)

議案説明 阿部課長補佐より資料に基づき一括して説明

質疑応答

(佐藤勝士委員)

運動教室について、平成23年度の健康運動教室の実績を見ると、日数・参加人数とも少ないと思う。教室での体操等の内容を教えていただきたい。10万の花巻市民からすると非常に少ない。地域全体の人数を把握してから教室の企画をすべきではないか。平成24年度も運動の取り組みと普及啓発のために運動教室を6振興センターで各3回行うようだが、内容は不明だが少ないのではないか。どのようなことを行うのか伺いたい。

(事務局)

平成23年度の運動教室は、特定健診で、いわゆるメタボの判定を受けた方の中から希望を募って実施したものである。対象者は、あまり運動経験がない方で、集中して教室を実施したところである。平成24年度については、振興センターとタイプアップして実施するもので、9月からの実施に向けて調整中であり、地域に入っていくものである。また、21プランの周知のための講演会の中で、講話の後に軽運動として年12回行う。軽運動では、きちっとラジオ体操に取り組むこととしている。考え方として、市民全員に運動を普及することは大切だが、保健センターでは、これまで運動していなかった方、また運動から遠ざかっている方をターゲットとしている。運動しないことで生活習慣病になりそうな方、また高齢化が進んでいる方でもできる運動を普及啓発していく。

(土岐紀一委員)

平成23年度保健事業報告の(5)健康診査事業についてであるが、平成23年度の受診率についてC型肝炎ウイルス検査は40歳は82%、またその他の年齢は68%を超えているが、がん検診は50%以下である。統計上の理由によるものなのか、これでよいのか、受診率向上のための考えを伺いたい。

(事務局)

肝炎ウイルス検査の受診率は、検査申込者に対する受診者で計算している。他の健診は対象者に対する受診率であり比較できない。国のがん対策基本計画では50%を目標にしている。本市実施分では50%まで達していないが、職場での実施分を含めるともう少しプラスになる。

(土岐紀一委員)

職場健診分を含めると受診率は対象者に対してどうなるのか。

(事務局)

事業報告に載せた実績は市実施分のみである。実際は職場で受診している方もいるし、直接医療機関で受診している方もいる。市で把握しているのは市実施分のみである。職場や医療機関で実施した分も押さえないが、会社から提供を受けるのも難しい。昨年度に県予防医学協会や対がん協会に本市での職域健診の実施状況について確認したところ、受診率10%程度上がってくる感触は掴んでいるが、職場健診の場合は花巻市民以外も受診しており、市民とその他と分けするのが難しく、受診率を掴みきれない。昨年度、21プランの策定にあたり市民にアンケート調査を行い、定期健診の受診状況のアンケートによると目標は達成している状況にある。国の新しいがん対策基本計画でも、受診率の分析について課題として取り上げ

られている。市としても受診状況の把握に努めていきたい。

（土岐紀一委員）

了解した。市で毎年がん検診も申込みをとっているわりに受診率が低いので質問したところである。

（佛川三千枝委員）

各地区、各振興センターで実施する保健事業について、年間通じて前もってお知らせ願いたい。太田振興会では21プランに合わせて「自分の健康は自分で守るために」をテーマに2回事業を実施したが、単独で実施するのは大変である。保健センターと連絡を取り合っ事業を進めていきたい。そのためにも事前にお知らせ願いたい。

（事務局）

プランにもあるが、健康づくりは個人での取り組み、行政での取り組み、そして各団体や地域での取り組みがあっ成果が上がる。その中で地域で取り組んでいただいていることは、大変有難い。取り組むための情報が不足しているとのことであるが、市でも情報を発信していくが、地域からも問い合わせ、また相談していただきたい。いっしょに取り組んでまいりたい。

（佛川三千枝委員）

資料があると助かる。何もないと相談しづらい。資料を提供願いたい。

（事務局）

所管の事業も多岐にわたるので、年間行事を一覧にしたものを情報発信できるような仕掛けを検討していきたい。

（田名場善明委員）

健康はなまき21プラン推進の講話で「上手な病院のかかりかた」とあるが、かかりつけ医や病診連携の話であれば病院ではなく医療機関とすべきでないか。また、受診率向上のために夕方健診を行うようだが、具体的な項目を考えているのか教えてほしい。

（事務局）

「病院」については保健所長のご指摘のとおりであり、訂正する。平成22年度に地域医療ガイドを作成し、また医療圏を設定したところである。また病診連携等についての普及啓発のため、平成23年度から説明会を行い、平成24年度も継続して行っていく。夕方健診については、特定健診を実施するものである。併せて受診率向上のため、大腸がん検診、肺がん検診を同時実施する。夕方健診は初の試みである。未受診者に対するアンケートを実施したところ、受診機会を増やしてほしいとの要望もあり行うものである。成果を見つつ今後活かしていきたい。

（高橋照幸委員）

平成24年度の沿岸等被災入居者訪問事業についてであるが、相談員は何人いるのか、また訪問の頻度、相談内容の傾向について教えていただきたい。

（事務局）

訪問は保健師1名で対応している。対象者は500人ほどで今月でひととおり回ったところであるが、不在者も多かった。相談については、眠れない、様々なことが気になってしょうがない等訴える方が多いが、原因は先が見えないことにある。これからどうなるのか不安であると話している。健康上の問題では血圧等あるが、花巻市は沿岸に比べて医療機関が充実しているので安心であると言われている。今後は、健康アンケートを実施した中で、気持ちが落ち込んでいる方や相談したいことがある方を中心に継続して訪問していく。

（佐藤勝士委員）

計画の推進状況について、花巻市保健福祉総合計画の健康増進のため意識的に運動しているの現状・目標と健康はなまき21プランの2.身体活動・運動の8健康な生

活のために運動を心がけている人の割合の現状・目標の数値に関連はあるのか。総合計画の数値がかなり低く見えるが、関連はあるのか。

(事務局)

保健福祉総合計画の健康増進のために意識的に運動している人の割合は毎年実施している市民アンケートからの数値である。健康はなまき21プランの2-8の指標については、プラン策定時に実施した調査に基づく数値であり違いがある。

その他 なし

(7) 閉会 上田健康づくり課長

(8) 傍聴人数

なし(新聞社 1名)